

農林水産省委託

平成23年度

アフリカにおける農業投資拡大のための検討調査

調査報告書

平成24年3月

株式会社クロスインデックス

平成 23 年度 アフリカにおける農業投資拡大のための検討調査

はじめに

本調査の目的は、サブサハラ・アフリカ地域におけるイモ類に対する民間投資を行うことを前提とし、バリューチェーン（サプライチェーン）各段階における投資に際しての問題点及びそれら問題点を解消して投資拡大を図るための手法を検討し、提言を取りまとめることである。

イモ類は、サブサハラ・アフリカ地域、特に西アフリカにおいて広範に主食として用いられるものの、伝統的な農業様式、非効率な農業機械の活用など様々な理由から低い生産性を余儀なくされている。また、有効な保存方法の欠如、輸送トラックの不足などにより生産後に大量のロスが生じている。さらにはマーケティング能力の不足がイモ類農家の生産意欲にも悪影響を与えている。とりわけ、農業機械の活用、組合の組成、生産後の流通、加工、販売、輸出などの点に焦点を当てた今回の調査の結果、農業機械の効率的な活用、保存や輸送方法の改善、マーケティング戦略の確立というような問題がクローズアップされている。

2008年の世界経済危機以降、先進諸国の経済成長が停滞し、アフリカに対する開発援助がこれまでのように継続的に行われるということは必ずしも保証される状況ではなくなった。その一方で、高い経済成長を示しているアフリカ諸国は、これまでのように先進諸国からの援助に依存した体質からの脱却が求められている。

アフリカ諸国が成長するためには、法制度、インフラ整備状況、税制度などの投資環境の整備が必要であるが、現実には、未成熟かつ政治リスクを伴った国が多く、なかなかうまくいかない。

このような構造改革の必要性とは別に、ヤム、キャッサバの増産がなった後に、その余剰を国内消費に回す以外に、海外への輸出も検討できよう。ヤム、キャッサバの主要な消費国である西アフリカ諸国での食糧流通以外に、欧州諸国をはじめとするアフリカ人コミュニティへの輸出を促進することにより、対外貿易収支の改善にも資することを検討できよう。

本調査の実施により、ヤム、キャッサバのみならず、その他のアフリカ産農産物の生産量の拡大、保存・加工・輸送過程でのロス率の低下、卸売・小売りなど流通の効率化、輸出促進、ブランディングの成功にも示唆を与えることを目的とする。

本調査の対象国は、西アフリカにおけるヤム、キャッサバの生産国であり、輸出国でもあるガーナ共和国とヤム、キャッサバの生産国であり消費国でもあるカメルーン共和国である。両国におけるヤム及びキャッサバの生産、加工・貯蔵、輸送、流通、輸出と研究開発などのバリューチェーンにかかわる問題点を指摘しつつ解決の手段を提言するとともに、海外からの投資を促進するために必要となる施策も検討している。なお、昨年度にも調査を実施したガーナについては、調査対象となる州をヤム、キャッサバの一大生産地である中部のBrong-Ahafo州と、ヤムの生産地として有名な北方のNorthern州にするとともに、農業生産向上、国内市場でヤムを普及させるために必要な施策を検討するため、実証調査を実施した。

目 次

第1章 事業の概要	1
1. 本調査の背景と目的	1
2. 本調査の内容と進め方	1
(1) 調査方法	1
(2) 訪問先一覧	3
(3) 実証調査の内容	4
(4) 検討委員会の開催	6
第2章 対象国におけるイモ類の生産事情及び関連産業	8
1. ガーナ	8
(1) ガーナの基礎情報	8
(2) ヤム、キャッサバの生産状況	10
2. カメルーン	15
(1) カメルーンの基礎情報	15
(2) ヤム、キャッサバの生産状況	17
第3章 ヤム、キャッサバの振興政策	19
1. ガーナ	19
2. カメルーン	22
第4章 ヤム、キャッサバのバリューチェーン	24
1. ガーナにおける生産と農業の現状と問題	24
(1) ヤム	24
(2) キャッサバ	28
2. カメルーンにおける生産と農業の現状と問題	30
(1) ヤム	30
(2) キャッサバ	34
第5章 保存、加工、輸送の現状と問題	37
1. ガーナ	37
(1) ヤム	37
(2) キャッサバ	38
2. カメルーン	42
(1) ヤム	42
(2) キャッサバ	42
第6章 卸売、小売の現状と問題	45
1. ガーナ	45
(1) ヤム	45

(2) キャッサバ.....	45
2. カメルーン.....	45
(1) ヤム.....	45
(2) キャッサバ.....	47
第7章 国内消費の現状と問題.....	48
1. ガーナ.....	48
(1) ヤム.....	48
(2) キャッサバ.....	48
2. カメルーン.....	50
(1) ヤム.....	50
(2) キャッサバ.....	50
第8章 輸出の現状と問題.....	52
1. ガーナ.....	52
(1) ヤムの輸出.....	52
(2) キャッサバの輸出.....	55
2. カメルーン.....	55
(1) ヤムの輸出.....	55
(2) キャッサバの輸出.....	55
第9章 投資環境と配慮事項.....	58
1. ガーナ.....	58
(1) ガーナの投資環境.....	58
(2) ガーナの組合.....	58
(3) ガーナの融資制度.....	59
(4) 西アフリカ諸国経済共同体 (ECOWAS) の現状.....	59
2. カメルーン.....	60
(1) カメルーンの投資環境.....	60
(2) カメルーンの組合.....	60
(3) カメルーンの融資制度.....	64
(4) 中部アフリカ経済通貨共同体 (CEMAC) の現状.....	65
第10章 ヤム、キャッサバ関連分野を振興するための問題意識と方向性.....	66
1. ガーナ.....	66
(1) ヤム.....	66
(2) キャッサバ.....	69
2. カメルーン.....	70
(1) ヤム.....	70
(2) キャッサバ.....	71
第11章 実証調査の結果.....	75
1. 実証調査1：機械化による組合のヤムの種芋栽培の効率化の検証.....	75
2. 実証調査2：ヤム、キャッサバの加工品の試食会.....	82

3.	価格観測調査：組合による出荷時期の調整によるヤムの高価格販売の可能性検討	86
第12章	ヤム、キャッサバ関連分野振興のための施策の提言	88
1.	具体的な提案および取り組むべき課題	88
(1)	生産・農業	88
(2)	保存・加工・輸送	92
(3)	卸売・小売	96
(4)	国内消費・輸出	97
第13章	官民連携～民間投資を呼び込むために期待される役割	102
1.	ガーナ	102
(1)	「1.1 生産性の向上」	104
(2)	「1.3 農業に関連した多様な事業による貧困農民の生活改善」	104
(3)	「1.4 食料保存と流通」	104
(4)	「1.6 灌漑と水管理」	105
(5)	「1.7 機械化サービス」	105
(6)	「2.2 新商品開発」	106
(7)	「2.4 農業組合と契約農家概念の強化」	106
(8)	「3.1 ガーナ産品の国内外マーケティング」	107
2.	カメルーン	107
(1)	生産・農業	108
(2)	保存・加工・輸送	108
(3)	卸売・小売	109
(4)	国内消費・輸出	109
第14章	現地にて得られた示唆と今後の展望	110
1.	政策対話及びワークショップの概要と得られた示唆	110
(1)	生産・農業	110
(2)	保存・加工・輸送	113
(3)	卸売・小売	115
(4)	国内消費・輸出	117
2.	結論	119
3.	次年度以降への展望	121